

## 社会福祉法人が連携して取組む地域食堂

～おたべ食堂の取組み～



### 取組みの目的・経緯

鳥取こども学園では、子どもたちへの食の支援を行い、子育て世帯の負担感を緩和しつつ、地域ぐるみで子どもを育ていこうと、平成30年1月から鳥取市内の4法人と連携して地域食堂「おたべ食堂（旧たちかわこどもクラブ）」を運営しています。

えんくるり事業の社会資源開発事業では、このように社会福祉法人が連携して地域課題の解決に向けた取組みを進める事業に対して助成を行っており、この取組みが助成第1号となりました。

### 取組みの内容

毎月1回（第2・4木曜日の2日間）開催しており、どなたでも参加できます。事前予約制としていますが、毎回予約でいっぱいとなっています。調理は鳥取こども学園の栄養士等が行い、配膳や子どもの学習、遊び等の対応を5法人の職員が行っています。令和2年度から地域のボランティアの方に調理スタッフとして加わっていただいております。現在3名の方に協力いただいております。

開設当初は鳥取こども学園の施設内で行っていましたが、令和元年から、より地域に身近な地区公民館に会場を変更しました。公民館の協力により地区の全戸にチラシを配布することができ、参加者が格段に増えました。

新型コロナの影響で令和2年度から会食形式を中止し、弁当の配布に形態を変えて実施していますが、地域の方への口コミ等もあり、さらに参加者が増えている状況です。

令和3年度から、鳥取県社協がストックしている子ども服を活用した子ども服リユースコーナーを設置したり、鳥取市社協が実施しているランドセルリユース事業のチラシを配置するなど、子育て支援に関する事業と連携しながら取り組んでいます。

### 取組みによる成果

- ・利用者が増えており、ニーズの高さが窺えるとともに、地域に必要な食堂となっています。
- ・公民館の協力や、調理ボランティアとして地域の方に参加していただき、地域ぐるみでの活動となってきています。
- ・様々な分野の社会福祉法人が連携することにより、それぞれの特性を活かした取組みを進めることができています。また各法人の職員同士の連携を図ることができています。

### ○活動データ

- ・実施回数：月1回（第2・第4木曜日の2日間）
- ・利用者数：令和3年度延べ832名
- ・取組みに関わる人員：令和3年度延べ102名
- ・取組みに関わる主な経費：食材費、日用品費

## 課題

- ・参加人数が増加する中、調理スタッフ等の負担が大きくなってきています。
- ・学習支援のニーズを把握しきれいていません。
- ・法人の専門性を活かした相談支援システムの構築を考えていますが、まだできていないのが現状です。

## 活動者コメント

- ・参加する子どもたちの笑顔やご家族の落ち着いた表情を見ることができ、地域に食堂が必要とされていることを実感しています。

## 利用者の声

- ・ここに来ている間、ゆっくり過ごせる時間になっています。
- ・バランスの取れたご飯が食べられて嬉しいです。おかずメニューも参考になります。
- ・子ども同士、親同士の繋がり場となって良かったです。

## 社会福祉法人 鳥取子ども学園

本部所在地／鳥取県鳥取市立川町5丁目417番地

電話番号／0857-22-4206

FAX 番号／0857-23-0242

法人HP／<https://www.tottorikodmogakuen.or.jp/>

他に実施している公益的取組み／

電話・メール相談事業、診療所、実習生・見学研修等の受入れ、

児童虐待防止ネットワーク、生計困難者に対する相談支援事業（えんくるり事業）

